



松田美枝さん 絵

第 224 回 例 会 1963.11.19 (火) 晴後曇

例 会 場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)

事 務 所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

Person to Person
Club to Club
District to District

次 回 例 会 予 定

11月26日 (火) 新会員の職業紹介 新 会 員

12月3日 (火) 映画興業について 長谷川文清君

○出席報告

本 会員数 49名 欠 金井(国)君、金井(勝)君
日 の 出席数 40名 席 新穂君、渡部君、阿部君
出 席者 吉村君、菅原君、新野君
席 出席率 81.25% 者 津田君

前 前回出席率 72.92% メ 広瀬君 (新津R.C.)
回 の 修正出席数 43名 ー 斎藤(得)君(長井R.C.)
修 ク 飯白君 (仙台R.C.)
正 ア 小島君 (大阪R.C.)
確 アン 海東君 (酒田R.C.)
定 ツ 金井(国)君(東京銀座R.C.)
出 プ 中台君 (仙台北R.C.)
席 率 87.50%

○司 会 池 内 会 長

○ソ ン グ それでこそロータリー リーダー 安藤君

○ゲ ス ト

山形大学教授 農学博士 高橋喜夫氏

山形大学留学生 Bertie Suriyodasa 君

○ピ ジ タ ー

佐 藤 吉 三 君 (酒田R.C.)

○報告並びに連絡事項

○当クラブのチャーターメンバーであつた金井国之助氏がこの度御健康の都合で庄内証券KKの取締役並びに支店長をお辞めになるので、ロータリーより退会せねばならなくなつた。4年有余無欠席をつゞけた立派な会員を失なうことは洵に残念でならない。

○去る12日開催された理事会において次の事項が決定されたので報告する。

(1) クリスマスパティーについて

期日は12月21日、会場は農協会館、斎藤副会長が総括責任者となり親睦委員会を中心に各委員会がこれに協力することとし準備を進めて行く予定。

(2) 新入会員の役割決定

五十嵐三郎君 (親睦委員)

小島 武君 (会報委員)

笹原 桂一君 (会報委員)

鈴木弥一郎君 (SAA)

(3) ロータリー財団への寄付金は当クラブは約 100ドルの納入により 100%となるので、それに達するよう送金することになった。

○今日より出席率一覧表を会場に掲げることにした。これを御覧になつて各自の出欠を確め、出席意欲を大いに高めて頂きたい。(出席委員長)

○卓 話 セイロンの話

山形大学農学部留学生 Bertie Suriyodasa 君
(通訳) 山形大学教授 高橋喜夫博士

(講師紹介)

セイロン国より山大農学部へ留学生として来鶴されたパーティー・スリアダサ君を御紹介致します。同君は過日

セイロンで米作りの指導に当たられた高橋教授を慕って来られたのであるが、3年前の高橋教授がセイロンで1ヶ年間実地指導を行なっている間先生の助手として活躍された方で、今回政府の低開発国協力基金制度の適用により来日されたのである。同君は11月9日に日本に参り東京其の他を見物され、この18日に鶴岡に着いたばかりであり当分の間私の家で起居する予定である。これから8ヶ月間高橋教授のもとで勉強するわけですが未だ日本語もわからず何かと不便と思います。会員各位には街や職場でも種々お世話になることでしょうか。何とぞ宣敷く願います。

尚、セイロンの留学生として日本に来て5年になるMilton Munidasa君、現在東京工業大学の化学の修士課程に学んで居る方が来鶴され幸にパーテー君とお会い出来た。ミルトン君は米山奨学資金を受けて居られるのでロータリーとも関係深いし、クリスマスには是非鶴岡に来られるようお進めした。

(国際奉仕委員 小花盛雄君)

セイロンの話

今回貴クラブに招かれ母国セイロンのお話を述べさせて頂くことを非常に喜んで居り、この機会を与えて下さった小花先生と高橋教授に感謝している。

私は日本国から比べて随分小さいセイロン国から只今当地に着いたばかりである。セイロンの人口は約1100万人です。主要な輸出産物は茶、コ、ア・ココ椰子・ゴムであり、その中で最も多いのは茶で世界各国へ輸出している。茶は全島至るところで作っているがたまたま日本に来てプルツクボンヌの箱が見られ懐しい気がした。茶はリプトンやタンガアナ其の他の会社で作っているが茶には2つの種類があつて、高い山の方で作っているものと低い平地で作っているものがある。香や味は高い方で作っているものの方が良いとされている。次にココ椰子があるが椰子は種々なものに使用され用途は実に広い有益な植物である。果実はカレーを作る材料に用いられ、コブラは多量に輸出される。また椰子油を作りこれも輸出される。椰子の繊維は敷物に織られたり、帯やマットに使われるし、コ、ナツの花からはアラークと呼ばれる酒も作られる。更に椰子の葉は屋根を葺く材料にされるゴムやコ、アは全部輸出される。セイロンの主食はライスカレーであり米は全消費量の半分位を国内で生産する。沢山の学生が生産技術を学ぶため日本に来ている。私は日本政府に招かれ稲の栽培を学びに山形大学農学部高橋教授に留学出来たことは帰国後セイロンの米作りに大変有益となろうと考える。

セイロンでは工業製品は殆んど輸入にたよっているが近い将来には国内でも生産されるようになるだろう。ゴムは今のところ全部輸出しているが将来加工工場も出来タイヤ等を製産されるようになる。セイロンの気候はこ

ちらと大変違い年中暖い。中央部の高い山では年間最低気温が12度位に下ることもある。

最後にこの機会を与えて下さった鶴岡ロータリークラブの皆様にご心から感謝する。

〇一人一筆 平凡人
皆川仙吉

私がロータリーに入会させて戴いてから約1年になるその間会員としての使命も判らず只夢中で会に出席するだけで平凡にこの1年も過ごして来た。里見淳が「厩をあげ乍ら」と云う随筆の中に、こんな事を言っている。

18世紀半から19世紀にかけての巨匠たち、ゲーテ・バルザック・トルストイ・モーパッサン・ドストエフスキーなどああいう人達の仕事となると伸び伸びと糸を繰り出したり糸をたぐり寄せたり、しかも全体として見れば大空高く澄みきつた大靨の感じだ。

こういつた巨匠たちの仕事を思うと自分らのやつている事は子供の厩遊びである。

俗人たる私は自分の平凡人たることも若い頃から最もよく知っているのは自分自身であつた。だから私はこれ迄望んで来たのは人生観に於ても又人生実行に於ても決して過大を望まず自分の分担応を知つていた。私の希望は精々いくらでもいゝ平凡人になり度いと思ふ位のものであつた。小心者と笑われてもよい、この目標が誤つていたと言われても私は悔いない。

もともと平凡人が非凡人になり度いなど大それた考えに苦しめられて結局いつも空虚な常に満たされない一生を送るよりは自からを安んじてこうした平凡な愉しい無理の少しもない米の飯のような一生を送つた方がどれほど私の柄に会い且つ幸福であると思う。

私は心からこれで満足する。自己満足のそしりがあるかも知れない。然しそんな事はどうでもよい。私は自分だけでは、自からの生を充実させるために、また与へられた乏しい才能を柄相応に出来るだけ伸ばすためにありつた自分の努力を費したいと思つている。

〇幹事報告

〇会報到着 長井、村上、仙台、山形、郡山、本荘各R・C

〇例会日変更

石巻R・C 12月3日(月)の例会を公式訪問のため石巻東R・Cと共催で11月30日(土)に繰上げる。

〇ニコニコ箱

お仕事多忙で遅刻 三浦君

〇本日の献立

さしみ(鯛)、焼物(小鯛)、吸物(塩鱈・ねぎの酒粕仕立)